

平成14年度川崎医学会総会議事録

日 時：平成14年 6 月26日（水）午後 3 時

場 所：図書館小講堂

出席者（役員）：勝村会長他18名

議 事：勝村会長の開会挨拶に続き、角南副会長が議長に選出され、次の事項が報告審議された。

1. 業務報告

1) 機関誌編集委員会より（配付資料あり）

a. 和文誌：現在28巻 1 号まで発刊されており、2 号に掲載すべき論文も、受理 4 篇・再提出待ち 2 篇であることが報告された。しかし、現状では若干投稿数が減少傾向にあり、会員の更なる協力をお願いする旨、告げられた（山本主幹）。

b. 欧文誌：現在27巻 2 号まで発刊されているが、次号に掲載されるべき論文は 3 篇受理、2 篇査読中、1 篇再提出待ちであり、これらのうち 5 篇が集まった段階で、27巻 3・4 号合併号として刊行する予定である。依然刊行予定よりは遅れがあり、28巻についても合併号を考えなくてはならない状況にあり、各教室の御協力をお願いしたい旨、報告された（大熊主幹）。

c. 教養篇：昨年12月に27巻が発行され、現在28巻は 6 月末日に応募締切り予定であるが、例年に比べると若干応募が少ない印象である。8 月下旬に発表会、9 月末日に原稿〆切で12月発行予定であることが報告された（佐藤主幹）。

2) 医学会講演会に関する報告（配付資料あり）

昨年度は第86～89回の 4 回、医学会講演会が開催されたことが報告された。学外講師に対する謝礼金を増額したことにより、例年より学外講師が増加し計 4 名であった。今後は更なる活性化を計り年 6 回の開催に向けて鋭意努力したい旨、報告された。（園尾運営委員）。

2. 審議事項

1) 人事（評議員・運営委員）について（配付資料あり）

運営委員について、会計担当運営委員を杉原委員に替わり佐々木（環）助教授に着任いただく事が提案され承認された。副会長人事について、植木前副会長の退任に伴い空枠が生じるが、本人事は大学副学長人事との関連であり補充はしないことが了承された。評議員人事について、まず今年度は 2 年毎の

評議員更新の年度にあたり、現在の評議員全員の留任が諮られ承認された。また田中・星加両評議員が平成13年度末にて退会・退任され、後任として、佐々木新会計担当運営委員、椿原教授（リハビリテーション医学）を新評議員として推薦する事が提案され承認された（大槻運営委員）。

2) 会誌オンライン化について（配付資料あり）

昨年度よりのオンライン化にむけての経緯が説明され、現在、投稿規定の変更・筆頭著者への承認等の作業中であることが報告され、契約とともにオンライン化を進めることが承認された。なお、今後、掲載の図表等を他論文に引用するにあたっての規約の整備等が必要であることが述べられた（佐々木編集委員会庶務）。

3. 会計ならびに会計監査

1) 平成13年度決算に関する報告（配付資料あり）

収支決算書（案）が提出され、各費目の詳細が説明された（杉原会計担当委員）。

続いて、本決算が適正に処理されていることが報告された。尚、依然本会には現在多額の繰越剰余金がありその有効利用が考案されるべき事が申し添えられた（近藤監事）。

2) 平成14年度予算について（配付資料あり）

予算書（案）の各費目の算定理由が説明され、審議の結果、平成14年度予算は原案通り承認された（杉原）。

3) 会計関連の報告・審議事項（配付資料あり）

①会計帳簿の廃止と打ち出し記録の保管（報告）

：平成13年度まで会計は帳簿を手書きで控えてきたが、パソコン打ち出しのものを袋とじ割印保管し、会の控え並びに会計監査用の控えを各々一部残すこととする。

②余剰財産の有効利用：25周年記念事業のような

「図書館への寄贈」といった事業を区切りの年度で行っていくことを考案する。差し当たっては、医学会設立30周年にあたる 3 年後の年度を考慮する。

③大学院生の会費滞納対策：大学院生の会費未納

が多年度に及ぶことがあり会計上問題となっている。医学会より、中間発表抄録集が和文誌別冊として発刊されているためその掲載については会費納入を必要とする旨、大学院生に徹底していただくよう、大学院研究科委員会に依頼する。

④設立25周年記念事業会計の完結に伴う継続事項
：昨年度末での完結に伴い、現在残留中の柳田
邦男氏の講演内容の医学会誌への掲載に関連す
る通信費等は一般会計に組み込む。

⑤基本財産の分割：ペイオフ解禁に伴い、本年度
予算より基本財産を分割する（中国銀行ならび
に東京三菱銀行）。

上記のうち①については報告、②～⑤については
提案され承認された（大概）。

以上

附記：総会終了後、第2回川崎医学会賞授賞式なら
びに受賞講演会が催された。

第2回川崎医学会賞授賞式

式に先立ち、受賞者の紹介が行われた（石井運営
委員）。

平成14年度第2回川崎医学会賞受賞者は以下の通
りである。

研究奨励賞：

田中幸子先生：大学院生化学系腫瘍治療学Ⅱ 4
年生（産婦人科兼務レジデント）

対象論文： Suzuki S, Tone S, Takikawa O, Kubo T,
Kohno I, Minatogawa Y. Expression of indoleam-
ine 2,3-dioxygenase and tryptophan 2,3-dioxyge-
nase in early concepti. Biochem J 355: 425-429,
2001

医学会誌論文賞：医学会・編集委員会より

小堀陽一郎先生：前・大学院形態系消化管形態病
理学〔内科消化器Ⅱ部門〕（現・愛媛大学第三
内科）

対象論文：小堀陽一郎．家族性大腸腺腫のゲノム
A P C 遺伝子変異と臨床徴候の関係に関する研
究．川崎医学会誌 27(4)：279-292, 2001

矢田健一郎先生：大学院生化学系血球生化学(現・
Myeloma Institute for Research and Therapy, Ar-

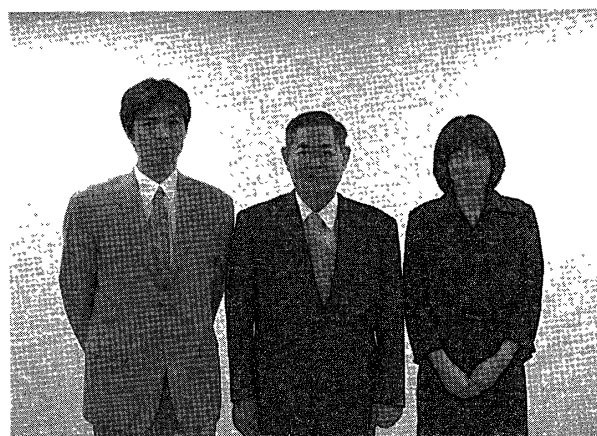
kansas Cancer Research, University of Arkansas for
Medical Sciences, Little Rock, Arkansas 留学中)

対象論文： Kenichiro Yata. Expression of angio-
genic factors in myeloma cells. Kawasaki Med J 27
(1)：23-32, 2001

引き続き授賞式が行われ、勝村会長より受賞者
（田中・小堀両先生）に賞状・副賞が授与されると
ともに、記念写真撮影が行われた（なお、矢田先生
は留学先の御都合により欠席であった。留学終了後、
受賞講演を含めて、その後の研究の成果を踏まえて
講演をお願いする予定である）。

引き続き、第2回川崎医学会賞受賞者による受賞
講演会が、角南副会長を座長として多数の会員なら
びに学内関係諸氏の参加のもとに、同会場にて約1
時間に渡って行われた。受賞講演に相応しく、各受
賞者共に卓越した内容の講演であり、今後の研究の
発展と、受賞者を含め会員の本学会活動への活性化
を期待させる会となり、盛会裏に終了することがで
きた。本賞の制定ならびに選考に携れた関係諸氏に
感謝するとともに、今後、本賞を医学会事業の一環
としてますます充実させるべく、会員一同の御協力、
御努力をお願いし、第2回川崎医学会賞受賞講演会
の報告とさせていただきます。

以上



川崎医学会 平成13年度収支決算書

収入の部

科 目	予算額	決算額	増減*	摘 要
会費収入	4,515,000	4,624,000	109,000	
個人負担金	3,500,000	2,219,250	-1,280,750	超過頁料金、 カラー印刷費
補助金	10,000,000	10,000,000	0	
利 息	30,000	10,996	-19,004	
その他の収入	100,000	94,100	-5,900	雑誌購読料・ 共著者料
解約金	0	1,628,208	1,628,208	25周年記念事業中 銀定期預金解約
年度内実収入	18,145,000	18,576,554	431,554	
前期繰越金	13,743,497	13,743,497	0	
合 計	31,888,497	32,320,051	431,554	

支出の部

科 目	予算額	決算額	増減*	摘 要
会誌印刷費	15,800,000	7,594,701	-8,205,299	
会誌郵送費	750,000	663,030	-86,970	図書館特別会計及 ひ学会員への会 誌郵送
講演会費	400,000	419,893	19,893	
雑 費	200,000	137,250	-62,750	文具等
川崎医学会費	700,000	700,000	0	川崎医学会賞賞金
基本財産へ移管	10,000,000	0	-10,000,000	
年度内実支出	27,850,000	9,514,874	-18,335,126	
予 備 費	4,038,497	0	-4,038,497	
次期繰越金	0	22,805,177	22,805,177	
合 計	31,888,497	32,320,051	431,554	

* (増減) = (決算額) - (予算額)

〈会費収入内訳〉

会 費	4,165,000	4,284,000	7,000×549名 14,000×16名 21,000×5名 28,000×4名
人会金	350,000	340,000	5,000×68名

〈会誌印刷費内訳〉

吹 26(3 4) 27(1 2)	8,400,000	3,511,830	4 冊 20編 131頁
和 27(2 3・4) 抄録集	4,900,000	2,940,471	3 冊 21編 201頁 抄録集 20頁
教養・27号	2,500,000	1,142,400	1 冊 7 編 62頁

川崎医学会 25周年記念事業費 平成13年度収支決算書

収入の部

科 目	決 算 額	摘 要
人 金	0	
利 息	1,137	
年度内実収入	1,137	
前期繰越金	6,647,446	
合 計	6,648,583	

支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
講 演 会	0	
図書館寄贈図書	5,020,375	
図書館寄贈機材	0	
雑 費	0	
年度内実支出	5,020,375	
医学公会計に繰り入れ	1,628,208	
合 計	6,648,583	

川崎医学会 25周年記念事業費 全体収支決算書

(平成11年12月3日～平成14年3月12日)

収入の部

科 目	決 算 額	摘 要
人 金	22,045,965	積立金定期預金、定期預金、普通預金
利 息	6,809	
事業費実収入	22,052,774	
合 計	22,052,774	

支出の部

科 目	決 算 額	摘 要
講 演 会	6,575,355	謝礼金、広告代、RSKサービス等
図書館寄贈図書	12,039,905	
図書館寄贈機材	1,759,306	
雑 費	50,000	文具等
事業費実支出	20,424,566	
医学公会計に繰り入れ	1,628,208	
合 計	22,052,774	

川崎医学会 平成14年度予算

収入の部

科 目	予 算	前年度予算	増減*	摘 要
会費収入	4,835,000	4,515,000	320,000	
個人負担金	3,500,000	3,500,000	0	超過頁料金・ カラー印刷費
補 助 金	10,000,000	10,000,000	0	
利 息	10,000	30,000	-20,000	
その他の収入	100,000	100,000	0	雑誌購読料・ 共著料
年度内実収入	18,445,000	18,145,000	300,000	
前期繰越金	22,805,177	13,743,497	9,061,680	
合 計	41,250,177	31,888,497	9,361,680	

支出の部

科 目	予 算	前年度予算	増減*	摘 要
会誌印刷費	13,400,000	15,800,000	-2,400,000	
会誌郵送費	750,000	750,000	0	図書館 10万×4 学外会員 30万 不定期・その他 5万
川崎医学会費	700,000	700,000	0	研究奨励賞30万, 論文賞20万×2名
講演会費	800,000	400,000	400,000	講師謝礼, 交通費等
雑 費	200,000	200,000	0	文具等
基本財産へ移管	20,000,000	10,000,000	10,000,000	定期預金(中国銀行・ 東京三菱銀行)
年度内実支出	35,850,000	27,850,000	8,000,000	
予 備 費	5,400,177	4,038,497	1,361,680	
合 計	41,250,177	31,888,497	9,361,680	

* (増減) = (予算) - (前年度予算)

〈会費収入内訳〉

会 費	4,585,000	7,000×655名=4,585,000
入 会 金	250,000	5,000×50名=250,000

〈会誌印刷費内訳〉

欧: 27(3・4合併号) 28(1・2・3・4)	6,000,000	120万円×5冊 (各1350部)
和: 28(1・2・3・4) 抄録集	4,900,000	120万円×4冊 (各1150部) 抄録集 10万円
教養: 28号	2,500,000	250万円×1冊 (各1100部)